

地域おこし協力隊

活動報告会

令和8年3月18日

広尾町役場企画課 神部 葵



本日の内容

- 1 自己紹介
- 2 主な活動紹介
- 3 自主活動
- 4 卒業後について
- 5 終わりに

自己紹介

神部 葵

企画課協力隊3年目

田舎暮らし支援員（スローライフサポーター）

誕生日：1998年7月7日（27歳）

出身地：札幌

最終学歴：小樽商科大学商学部

広尾町歴：3年

好きなこと：クラフトビール、写真、猫



すんです！



主な3つのミッション

1



農山漁村ホームステイ ふるさとワーキングホリデー

2



3



移住体験住宅

ホームステイ

～東京の小学生が広尾でありのままの農山漁村暮らしを体験～



🌸 期間

令和7年8月26日(火)～28日(木)

🌸 対象

荒川区尾久西小学校 5年生 66名

🌸 受入家庭数

17件 (去年比±0件)

ホームステイ

～東京の小学生が広尾でありのままの農山漁村暮らしを体験～



事後交流にて再会した受入家庭と児童



再訪してくれた尾久西の児童

ホームステイ

～東京の小学生が広尾でありのままの農山漁村暮らしを体験～



謝恩会でサプライズメッセージ動画を上映



中には感動して涙を流す児童も

ホームステイ

～NPO法人食の絆を育む会～

🌸 期間

令和7年10月1日～2日（1泊2日）
令和7年10月22日～24日（2泊3日）

🌸 対象

立命館慶尚中学校 1年生
かえつ有明中学校 3年生

🌸 受入家庭数

立命館：7件
かえつ：5件



ふるさとワーホリ

～町内の企業で働きながら暮らしや産業を知る～

● 期間

令和7年9月～12月

● 参加者数

8名（昨年比+3名）

● 受入企業・掲載募集数

6社7件

大学4年生（就活中）
将来の選択肢を広げたい
↓
十勝エリアへの就職興味
2月に再訪



参加者のTさん



移住体験住宅

～町に滞在しながら農山漁村の暮らしを知る～

🌸 期間

令和7年4月～10月

🌸 利用者数

広尾市街：9組15名218日間

音調津：2組7名277日間

計 11組22名

→約10年ぶりに実際に移住につながった事例も！



お魚捌き体験



牧場見学

移住生活ガイドの刷新

HIROO TOWN LIVING GUIDE

A GUIDE TO LIFE IN HIROO, HOKKAIDO
広尾町移住暮らしガイド



目次 CONTENTS

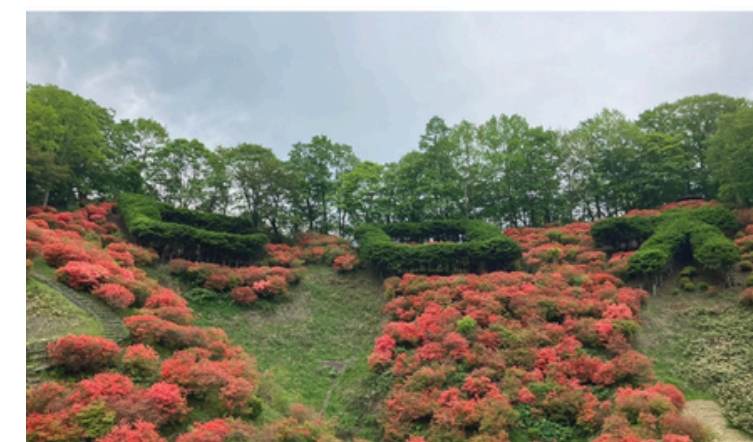
- 01 広尾町のすがた ... P2
— 自然・歴史・産業
- 02 広尾町の特徴 ... P4
— サンタランドと海のまち
- 03 スポット・イベント ... P6
— 四季の風景と行事
- 04 住まいの情報 ... P9
— 住宅・移住体験住宅
- 05 暮らしの情報 ... P12
— 水道・冬・ごみ・交通
- 06 医療・保健・福祉 ... P21
— 安心して暮らすために
- 07 子育て・教育 ... P23
— 未来へ繋ぐために
- 08 文化・スポーツ・レジャー ... P25
— 日常の楽しみ
- 09 広尾町役場 電話番号 ... P34
— ダイヤルイン一覧



●豊富な海産物
漁獲量日本一を誇る「ししゃも」や、毛がに、鮭、ツブ、ほっき貝、昆布など、豊富な漁業資源を有する太平洋沿岸は、1年中新鮮な海産物が味わえるまさに「海の幸の宝庫」です。地元の水産加工業者の加工技術も高く、「生干しししゃも」や各種干物・珍味は酒の肴には欠かせない逸品です。

●重要港湾「十勝港」

十勝港は「農業王国十勝」における唯一の海の玄関口であり、北海道と首都圏を最短距離で結ぶ港です。令和7年に、農林水産物等の輸出促進のための港湾として「農林水産物・食品輸出促進計画」を定め、国土交通省より産直港湾に認定されました。北海道初の産直港湾として、十勝産を中心とした農畜産品の輸出促進を図っています。



5

CHAPTER 02

広尾町の特徴

— サンタランドと海のまち

THE CHARACTER OF HIROO



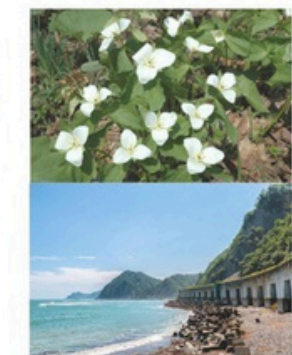
●サンタランド
昭和59年にサンタクロースのふるさとノルウェー王国オスロ市から国外初のサンタランドの認定を受けて以来、「愛と平和、感謝と奉仕」を基本理念としてサンタランドにふさわしいまちづくりに取り組んでいます。クリスマスシーズンには、サンタカードを全国に届けているほか、サンタランドのシンボルゾーンである大丸山森林公園では、サンタランドツリーのイルミネーションやウッドランタンを点灯し、来訪者を楽しませています。

サンタランドHP
<https://www.santaland.or.jp/>



●豊かな自然

東には豊かな漁業資源を有する雄大な太平洋、西には日高山脈連邦の山並みがそびえ立ち、その山系に抱かれた河川の水が幾度も日本一の清流に輝くなど、大変豊かな自然環境に恵まれています。このような環境のなかで、シーサイドパーク広尾では、5月上旬から中旬にかけてオオバナノエンレイソウ（群生面積5ha、100万本、国内最大規模の群生地）が咲き誇り、「フンベの滝」がある黄金道路沿いの海岸では、釣りやサーフィンを思う存分満喫できます。



4

協力隊活動

3年間でやってきたこと

1年目

- ・ 広尾deナイトイベント
- ・ 食と生産者の恵みツアー
- ・ 酒類小売免許取得
- ・ 十勝イノベーションプログラム(TIP)への参加
- ・ 移住フェアへの参加
- ・ 移住ドラフト会議への参加

2年目

- ・ ビアソムリエの資格取得
- ・ 広尾町のビール製作
- ・ 広尾でクラビル！
- ・ うみやまバルシューレイイベント
- ・ SNS情報発信
- ・ 熱中小学校への参加
- ・ 移住ドラフト会議への参加
- ・ 海風サウナフェスイベント
- ・ ソリワンGP実行委員

3年目

- ・ 広尾町のビール第二弾企画
- ・ ビールの学校イベント
- ・ SNS情報発信
- ・ 熱中小学校への参加
- ・ 移住フェアへの参加
- ・ はまなす財団食と観光創業塾への参加
- ・ 協力隊主催ひろおクリスマス市企画運営
- ・ うみやま高校生レシピ開発

その他の活動

1年目

～食と生産者恵みツアー～



ツアーで実施した
鹿ツノアクセサリ制作体験

広尾に住んで、魅力発信していきたい

広尾町の地域おこし協力隊員として4月から、移住政策を担当する神部葵さん(25)。今月は町内の1次産業の生産者と交流できる体験型観光ツアーを企画するなど、奮闘している。

札幌市出身。小樽商大の授業の一環で、小樽のパン店が舞台の漫画を活用した地域活性化に取り組み、まちづくりに関心を抱いた。大学卒業後は大手ハウスメーカーの帯広支店に勤務。広尾を訪れるうちに、「実際に住んでみて、広尾の魅力を発信していきたい」と決意。協力隊員に応募した。

大学の授業とは違い、自分の責任でまちおこしを担うプレッシャーを日々感じるが、ハウスメーカーでの勤務経験も生かし、「広尾に住みたくなる生活空間をつくりたい」と意気込む。

(佐々木馨斗)



その他の活動

2年目 ～広尾町のビール“もみの木エール”製作～



Hiroo Santa Craft

”もみの木エール”
ABV 3.0% IBU10

広尾サンタランドの象徴でもあるクリスマスツリーをイメージし、伐採した広尾町産トドマツを使用しています。スッキリとした飲み口で、アルコール度数も控えめながら、麦芽の風味を際立たせるほんのりとした甘みがあります。鼻の奥に抜けるマツ由来の爽やかで軽やかな香りをお楽しみください。ラベルには中心のサンタさんをはじめ、広尾らしさを一杯に詰め込みました。広尾町の自然の美しさを感じながら、一緒にクリスマスをお祝いしましょう！

10/26(土)、サンタランド点灯式にてお披露目予定。



サンタランドのビール「もみの木エール」販売へ 協力隊の神部さん

2024/10/23 10:09



広尾産トドマツを使用したクラフトビール「もみの木エール」と神部さん

【広尾】広尾町地域おこし協力隊の神部美さん（26）が、広尾サンタランドにちなんだクラフトビール「もみの木エール」を商品化した。クリスマスツリーをイメージし、広尾産トドマツを使用した。26日のサンタランド点灯式のバザーでお披露目、11月1日から町内の複数店舗で扱う。「広尾らしさを詰め込んだビールでクリスマス祝って」とPRしている。（能勢雄太郎）

札幌出身の神部さんは帯広市内のハウスメーカー勤務を経て、昨年4月に着任。移住・定住対策に取り組む傍ら、大好きなクラフトビールをまちづくりに生かそうとプロジェクト「広尾サンタ・クラフト」を立ち上げて普及に努めている。

「もみの木エール」はトドマツの香りが鼻に抜ける。330ミリリットル詰め、880円。26日は正円）用意する。

ジャパンビアソムリエの資格を持つ神部さんは「ク使うのも面白い」と強調。「冬に楽しむビールとして扱

問い合わせは神部さん（070・1251・627）

トドマツの香り
これまでは夫と同じく初めてオリジナルレシビ



2024年(令和6年)12月18日(水曜日)

スナック再開ビールでエール あす広尾

【広尾】11月下旬に再開した町内の老舗スナック「サンタドリーヨー」(西1の9)で19日午後7時から、広尾産トドマツの葉を漬け込んだ特製ビール「もみの木エール」を味わうイベントが開かれる。ビールを商品化した町地域おこし協力隊員が同店の再開を盛り上げ、「エール」を愛用しようと企画した。

同店のマスター渡部俊さんが今年8月、89歳で死去。妻の俊子さん(77)は気落ちして一度店を廃業したが、再開を強く望む常連客の声に支えられ、店を続けることを決めた。

もみの木エールは広尾サンタランドが今年認定40周年を迎えるのを記念し、協力隊員の神部美さん(26)が商品化。イベントではビール瓶1本に広尾産のツブヤシカ肉、コンパなどを詰めたおつまみを提供する。

当店は神部さんと、夫と同じく

協力隊員が企画
協力隊員の関本凱斗さん(26)が接客も手伝う。夫妻は「広尾への思いが熱いお店。みんなで再開を盛り上げられれば」と呼びかける。40セット限定で事前予約も受け付ける。問い合わせは同店、電話01558・2・40006へ。(佐々木響斗)

ビールイベントを企画した(左から)町協力隊員の関本さん神部さん夫妻と、「YOU」の渡部俊子さんと長女の鈴木珠世さん

卒業後について



広尾町ビール“PIRUY NISSE”の継続
→サンタの町らしいビールでまちをPR



札幌ファクトリーツリー点灯式

卒業後について

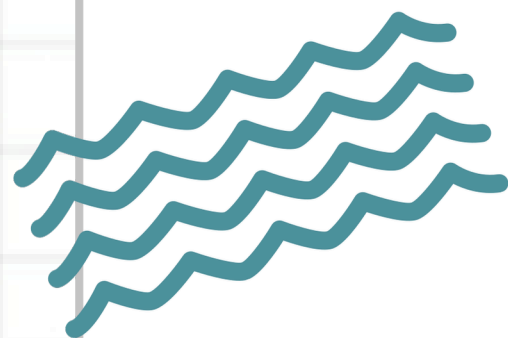
予告

オープン記念

令和8年4月11日、12日

10:00～16:00

ゲストハウス公開！



Thank You

3年間、皆様からの
温かい応援とご協力に
感謝します

これからもよろしくお願いします！

